

小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

発行日

平成28年11月11日(金)

発行者

宗谷管内地域未来づくり
会議事務局

平成28年度小中高一貫ふるさとキャリア教育推進連携フォーラム 14管内別ディスカッションにおける「宗谷管内ディスカッション」

平成28年10月27日(木) 13:10から、北海道第二水産ビル8階大会議室において、「宗谷管内ディスカッション」が開催され、10名の出席者が協議を深めました。

当管内のディスカッションにおいては、最初に、研究指定校である利尻高校の橋本教頭先生から「地域ダイスキ!プロジェクト」の取組について、スライドや動画を用いて説明がありました。特に、先日行われた「キッズビジネスタウンりしり」の動画では、販売を担当した小学1年生がお客さまへ一生懸命、商品の説明をする姿に、出席者から笑みがこぼれていました。

説明のあと、当管内では「研究指定校の取組の充実策」と「各市町村における『地域活性化』に向けた取組」について協議を深めました。内容は、次のとおりです。



(スライドなどで説明する様子)

○ 研究指定校の取組の充実策について (研究指定校から)

- ・地域の自然や文化についての調べ学習や、地域住民とのふれあいを通じて、ふるさとの魅力を再認識させ、子供たちの「自主性・自律性」とコミュニケーション能力の育成を図っている。
- ・子供たちが「提供する側」(地域住民や外部の方へのふるさと紹介、地域特産物の販売など)の立場で、地域の特徴を理解し、伝えることが、一層ふるさとを愛することにつながっている。



○ 各市町村における「地域活性化」に向けた取組について

- ・利尻町の取組を聞き、子供たちが中心となるような仕掛けの必要性を感じた。また、そのような取組により子供たちが将来地元へ戻ってくることが期待できる。(幌延町・野々村町長)
- ・町外の人により地元の魅力に気付かされることがあるため、外部とのつながりは大切である。また、町の魅力について情報発信する手段を検討する必要がある。(浜頓別町・南副町長)



■ ディスカッションのまとめに代えて (宗谷総合振興局・渡辺副局長)

- ・振興局が昨年度から実施している「宗谷ひと図鑑」事業と、教育局のふるさとキャリア教育推進事業のねらっている方向性が一致しているため、教育機関や市町村と一層の連携を図り、宗谷管内の活性化を図りたい。
- ・高校生が、地域で活躍する人や仕事の魅力取材することを通じて、地域の魅力を再認識し、定住や将来的なUターンに繋げたい。

